



第111号
カトリック中和田 教会
〒701
広報委員会 中田町
TEL 045-803-6141
1987年1月1日

1月の行事
金 初委員会
要理学校 (新年会)
婦人会 妊娠会
レジオ
10:00 10:30 18:00 ミサ後
10:00 18:00 (新年会)
10:00

2日	11日	18日	9日	16日	23日	30日
----	-----	-----	----	-----	-----	-----

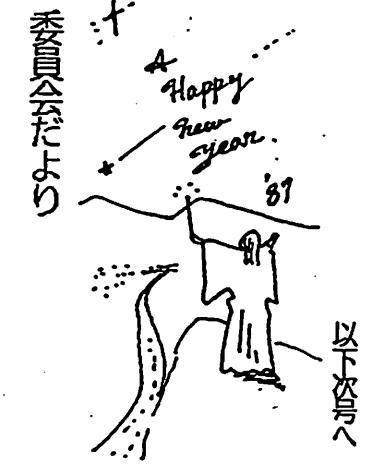
「雑記帳」抄 ③

山崎 正俊

◎私が断酒会に参加しているのは、アルコール中毒になつたからではありません。アルコール中毒だと診断され、「大好きな人生の伴侶」から引き離された人と、断酒の苦しみを、共にしたかだけです。断酒の苦しみを、共にしたかだけです。ブドウ酒を、水のかわりに飲んでいると云われるほどのフランク、生まれ育つた者として、私も幼いときから誰を恐れる」ともなく、飲みついけておりましたが、自分では大酒をたしなみながれ、いくらなんでも、お腹をすかしてくる猫のまえで、カツオフンドウを見せびらかすようなことは、あまりにも無神経すぎはしないかと、気が付いたのです。

私は耐えられなかつただけです。(イエズス様がこの世に)、人となつてお生まれになつた聖西に、「いくらかでもそんたくて……」

反省をしております。それを恐れず、勇気を持つて信徒宗教共同体としてその地区固有の刷新運動を考え推進する努力をしてください。



「が作成され毎回のミサで祈りされている。

司教じごえども失敗、誤りが多くある、常に反省をしております。それを恐れず、勇気を持つて信徒宗教共同体としてその地区固有の刷新運動を考え推進する努力をしてください。

三、教会十年史編集委員の件

同伴に関する名委員が決定した。

委員長 山崎神父様
事務チーフ 小谷副委員長
編集委員 富嶋(幸)、阿部(寿)、
阿部(映)、(婦人会)
七浦、宮崎(佐)、石井、
(元、現、広報委員)の各氏。

十一月十五日の例会が、六日と十一名の出席もとに開催されました。

詳細は会計又は広報委員のところにあります。
五、その他
司教様発信の「宣教共同体にするための刷新運動」に関する神父様と懇談が行われた。

箱」は、その罪滅ぼしのためのものなのです。おっしゃるところ、酒代のために持つてゆく人もあります。でも、困ったときに助かった人もあります。この「箱」のためにと、お金を送つてくださる見知ぬ方、同じような「箱」を置いてくださる方が、全国のあちこちであります。たしかに、妻にも子にも、よけいな荷物をさせています。妻の大好きな理解と積極的な協力があるから、つづけておらしましたが、自分では大酒をたしなみながら、いくらなんでも、お腹をすかしてくる猫のまえで、カツオフンドウを見せびらかすようなことは、あまりにも無神経すぎはしないかと、気が付いたのです。

も、仕方のない奴です。つづいてあると、つい、酒に迷わうとするのです。明日の米がないだけでなく、それを食べるハンザがないほとんどのときでも、たびたび、それをやめられなかつたのです。御自由にお使い頂けむか、小錢を入れた」箱」は、その罪滅ぼしのためのものなのです。おっしゃるところ、酒代のために持つてゆく人もあります。でも、困ったときに助かった人もあります。この「箱」のためにと、お金を送つてくださる見知ぬ方、同じような「箱」を置いてくださる方が、全国のあちこちであります。たしかに、妻にも子にも、よけいな荷物をさせています。妻の大好きな理解と積極的な協力があるから、つづけておらしましたが、自分では大酒をたしなみながら、いくらなんでも、お腹をすかしてくる猫のまえで、カツオフンドウを見せびらかすようなことは、あまりにも無神経すぎはしないかと、気が付いたのです。

私は耐えられなかつただけです。(イエズス様がこの世に)、人となつてお生まれになつた聖西に、「いくらかでもそんたくて……」

◎私は弱虫の、のんびれです。えりそつないを書いたらしく、生活の貧乏でいるわけですから、悪口を言われ、偽善者だときめつけられてそのせいです。人には、自分の生き方を選べる自由がありますから、お気を悪くなれないでください。私にできることは、「これくらいの」酒なんか、それほど好きではないのでしよう。そのせいです。人には、自分の生き方を選べる自由がありますから、お気を悪くなれないでください。私にできることは、「これくらいの」酒なんか、それほど好きではないのでしよう。

◎私は弱虫の、のんびれです。えりそつないを書いておりまして、自分では大酒をたしなみながれ、いくらなんでも、お腹をすかしてくる猫のまえで、カツオフンドウを見せびらかすようなことは、あまりにも無神経すぎはしないかと、気が付いたのです。

私は耐えられなかつただけです。(イエズス様がこの世に)、人となつてお生まれになつた聖西に、「いくらかでもそんたくて……」

社員会だより

一、六十一年、年間行事予定
来年は教区五十周年を迎えることが予想されるが、現在未定のため、連絡を受けた後対応を計ることとした。

尚、主要行事予定表は聖堂入口横の壁に掲示します。

一月十五日、例年通り信徒終身会を予定し、同余への提案をも含めて予算内容の検討を行つた。

三、教会十年史編集委員の件

同伴に関する名委員が決定した。

委員長 山崎神父様
事務チーフ 小谷副委員長
編集委員 富嶋(幸)、阿部(寿)、
阿部(映)、(婦人会)
七浦、宮崎(佐)、石井、
(元、現、広報委員)の各氏。

詳細は会計又は広報委員のところにあります。

五、その他
司教様発信の「宣教共同体にするための刷新運動」に関する神父様と懇談が行われた。

四、月次決算報告

次の二点が本年度に引き続いで取扱となりました。宜しくお願い申し上げます。

五、その他
司教様発信の「宣教共同体にするための刷新運動」に関する神父様と懇談が行われた。

五、年次決算報告

詳細は会計又は広報委員のところにあります。

五、その他
司教様発信の「宣教共同体にするための刷新運動」に関する神父様と懇談が行われた。

六、社員会だより

一、役員改選

次の二点が本年度に引き続いで取扱となりました。宜しくお願い申し上げます。

五、その他
司教様発信の「宣教共同体にするための刷新運動」に関する神父様と懇談が行われた。

七、年次決算報告

詳細は会計又は広報委員のところにあります。

五、その他
司教様発信の「宣教共同体にするための刷新運動」に関する神父様と懇談が行われた。

八、社員会だより

一、役員改選

次の二点が本年度に引き続いで取扱となりました。宜しくお願い申し上げます。

五、その他
司教様発信の「宣教共同体にするための刷新運動」に関する神父様と懇談が行われた。

九、社員会だより

一、役員改選

次の二点が本年度に引き続いで取扱となりました。宜しくお願い申し上げます。

五、その他
司教様発信の「宣教共同体にするための刷新運動」に関する神父様と懇談が行われた。

十、社員会だより

一、役員改選

次の二点が本年度に引き続いで取扱となりました。宜しくお願い申し上げます。

五、その他
司教様発信の「宣教共同体にするための刷新運動」に関する神父様と懇談が行われた。

十一、社員会だより

一、役員改選

次の二点が本年度に引き続いで取扱となりました。宜しくお願い申し上げます。

五、その他
司教様発信の「宣教共同体にするための刷新運動」に関する神父様と懇談が行われた。

十二、社員会だより

一、役員改選

次の二点が本年度に引き続いで取扱となりました。宜しくお願い申し上げます。

五、その他
司教様発信の「宣教共同体にするための刷新運動」に関する神父様と懇談が行われた。

十三、社員会だより

一、役員改選

次の二点が本年度に引き続いで取扱となりました。宜しくお願い申し上げます。

五、その他
司教様発信の「宣教共同体にするための刷新運動」に関する神父様と懇談が行われた。

十四、社員会だより

一、役員改選

次の二点が本年度に引き続いで取扱となりました。宜しくお願い申し上げます。

五、その他
司教様発信の「宣教共同体にするための刷新運動」に関する神父様と懇談が行われた。

十五、社員会だより

一、役員改選

次の二点が本年度に引き続いで取扱となりました。宜しくお願い申し上げます。

五、その他
司教様発信の「宣教共同体にするための刷新運動」に関する神父様と懇談が行われた。

十六、社員会だより

一、役員改選

次の二点が本年度に引き続いで取扱となりました。宜しくお願い申し上げます。

五、その他
司教様発信の「宣教共同体にするための刷新運動」に関する神父様と懇談が行われた。

十七、社員会だより

一、役員改選

次の二点が本年度に引き続いで取扱となりました。宜しくお願い申し上げます。

五、その他
司教様発信の「宣教共同体にするための刷新運動」に関する神父様と懇談が行われた。

十八、社員会だより

一、役員改選

次の二点が本年度に引き続いで取扱となりました。宜しくお願い申し上げます。

五、その他
司教様発信の「宣教共同体にするための刷新運動」に関する神父様と懇談が行われた。

十九、社員会だより

一、役員改選

次の二点が本年度に引き続いで取扱となりました。宜しくお願い申し上げます。

五、その他
司教様発信の「宣教共同体にするための刷新運動」に関する神父様と懇談が行われた。

二十、社員会だより

一、役員改選

次の二点が本年度に引き続いで取扱となりました。宜しくお願い申し上げます。

五、その他
司教様発信の「宣教共同体にするための刷新運動」に関する神父様と懇談が行われた。

二十一、社員会だより

一、役員改選

次の二点が本年度に引き続いで取扱となりました。宜しくお願い申し上げます。

五、その他
司教様発信の「宣教共同体にするための刷新運動」に関する神父様と懇談が行われた。

二十二、社員会だより

一、役員改選

次の二点が本年度に引き続いで取扱となりました。宜しくお願い申し上げます。

五、その他
司教様発信の「宣教共同体にするための刷新運動」に関する神父様と懇談が行われた。

二十三、社員会だより

一、役員改選

次の二点が本年度に引き続いで取扱となりました。宜しくお願い申し上げます。

五、その他
司教様発信の「宣教共同体にするための刷新運動」に関する神父様と懇談が行われた。

二十四、社員会だより

一、役員改選

次の二点が本年度に引き続いで取扱となりました。宜しくお願い申し上げます。

五、その他
司教様発信の「宣教共同体にするための刷新運動」に関する神父様と懇談が行われた。

二十五、社員会だより

一、役員改選

次の二点が本年度に引き続いで取扱となりました。宜しくお願い申し上げます。

五、その他
司教様発信の「宣教共同体にするための刷新運動」に関する神父様と懇談が行われた。

二十六、社員会だより

一、役員改選

次の二点が本年度に引き続いで取扱となりました。宜しくお願い申し上げます。

五、その他
司教様発信の「宣教共同体にするための刷新運動」に関する神父様と懇談が行われた。

二十七、社員会だより

一、役員改選

次の二点が本年度に引き続いで取扱となりました。宜しくお願い申し上げます。

五、その他
司教様発信の「宣教共同体にするための刷新運動」に関する神父様と懇談が行われた。

二十八、社員会だより

一、役員改選

次の二点が本年度に引き続いで取扱となりました。宜しくお願い申し上げます。

五、その他
司教様発信の「宣教共同体にするための刷新運動」に関する神父様と懇談が行われ



「雜記帳」抄

わたしの神

山崎正俊

うば、その制定者の

◎「Jの世」一定の秩序があることを知るならば、その制作者を認めたことになり、その定めに従うことが、そこに生きるために大切である「Jに従ふ」ならば、その制定者の意向が働いて「J」にとを認めたことになるのです。「J」の創造主は誰か、「神」と名付けていいのですから、誰もが必ず従わなければならぬ「神」の存在は、否定できないのです。

◎しかし、「Jの世」に存在しているあらゆる物は、その内にそれぞれ固有のエネルギー（能力）を持つており、精神的なものも、その表れにすぎない。原因とその結果の法則（因果律）も、単にある出来事のあとに、そのような出来事が続くといふことが多いといふ経験を、まとめた話しにすぎない、などと言われることがあるのですが、これは、何故そうなのかという疑問には、答えていません。

◎「科学」は、人類の繁栄のために、たいへんな善いものを与え、迷信を取除いてくれました。それで、いまは、「科学至上主義の時代」とい

れるほどの信頼が、「科学」に依せられています。それでも、「人」には「科学」の力が及ばないのではないかと、私には思われます。人は単なる物とは違つてゐるからです。——人間の体は、他の「物質」と同じ物によつて合成されていります。そのうえに、他の「植物」や「動物」と、その

と思ひます。
おや話し合ひ、分かちあひ、祈りししては横浜
教区の祈りを體に祈り、豊かな神の愛と靈験の御
導きがあるわよよわい!.....

卷之三

一月十五日、九時のミサの後、御靈堂に於いて行われました。(出席者総数三十名)

山嶺神父樣貌

一般分析報告書
會計監查報告書
橋梁資員
七種證書
一粒米咁咁證明書
質疑心

山崎神代様接見の後、議事に入り、質疑応答の後採択は、出席者全員の賛成に依り終了した。尚、関連資料は委員会へ提出する所存です。

一立元 一主子讀於一

一 漢書の傳記の文法的構造 (二)

一粒金の献金もみなさめたの」協力により二九万一千〇四円と前年に比べ約四万円の増額となり、あつた支援として深く感謝いたします。

信徒祭会において発表のとおり、員は現在七十名ですが、まだ加入されていない方は一枚会の趣旨を理解いただき一人でも多く参加協力していただくことを希望してやまないところです。数区の大会で発表されました「教区21世紀の歴史

向づけを出しました。
それが今回の大好きなテーマでもあり、日本の教会の夜明けである。あのキリスト教時代の教会、ペーパード連が少數であっても、そしてあれほど跋扈した迫害の風が吹き、それでも教会は崩れず、たましく力強く、粘り強い教会の土台は、皆、信者達が作ってくれたのです。
即ちまだキリストの食卓を囲んでいない人に信仰の喜びを伝え、より多くの人を洗礼し導き被信と共に救いのみ葉の扱いてとなることが四つのが第一の方針として固まったと思ひます。
カトリック信者は例外なく自分の力で心して宣教者となること、其の主役は司祭、修道者でもなく、むろしく信徒の我等である。神父に頼りますが、また、宣教会に依存しすぎていると頼る教会となり、そして信仰を内側に向けて外にむけないと日本の教会の未来は無いと思ひます。
決して内に閉塞する事なく力強く外に向かって呼びかけよ。
信仰は自分の恵みとして戴くだけではなくそれを分かちあい、伝えていくものと思ひます。
教会は改心の場として信者の集りで、たえずその恵みを人々にあかしていき、伝えていく信仰共同体と想います。
信者は司祭の御手伝いとは思へません、協力者のあるひ思ひます。共同貴重物などのです。
口も田す、手も田す、場合によるお金も田すとうひになります。
同様にしていふ使徒職よりも我等信者が、働く領感無数であります。
司祭の協力者である我等は不等と考へて下での考えより共同責任の立場で考へたいと思ひます
司祭は全體のまとめるのであり靈的な指導者として大切な役割を果たす一致の要と思ひます。
教会は立て行く信仰共同体として内國では大いに話し合ひを行い、家庭、職場、地域社会など
の出来事を話し、各人の話しへ聞くとの大切さを語り、各々の体験談を参考として信仰共同体として活動を致しましよう。
教会の発展のために会議には毎月万難を排し常に参加し教会の方針を知る様にしめしょ。
亦、教区の運動で、今回田代のブロックの会合

・ 神父様は毎年八月上旬後々機が田中園を訪問されながら、山崎神父様は今年も毎年八月上旬後々機が田中園を訪問されながら、今年七五下旬迄の間、定めずするが如きで、約十日程の事で、司教會の方々と同行された。たゞ、だんだんと西野町の通つて司教會の様の御用事の幾件の通りに御用事は二三回、「十九日（日）」に変更、これ伴つて共同告解の口時は改めて検討する（西）「十一日（火）」に四四五五（土）とした。

婦人会だより

一月十八日婦人会総会と新年会が出席者四十五名で行われました。

旧役員の挨拶の後、旧年度の活動報告、会計報

新役員紹介の後、新農より婦人会の会計が一般会計と特別会計の一本立てになつていて、旧会計は廃がとしても大変だったので一本にしてほしい

度より実施します。その後新年会に入り神父様の挨拶の後ワインで乾杯、クイズ、ゲーム、歌等で楽しく過ごし、聖歌をうたつて終了しました。

一月十二日 葉美大島聖母の園老人ホームへ、おむつ、その他ダンボール一箱に入れて、おくりました。後日、シスター山田より御礼の電話があり

卷二

謹信の秘跡 日時変更
三月十九日(現在の小学六年生以上)
準備の為の要理 每日曜日の午前八時十五分から



1月1日	ミサ	00:00
4日	ミサ	10:00
6日	ミサ	10:00
8日	ミサ	10:00
13日	ミサ	10:00
20日	ミサ	10:00
27日	ミサ	10:00

会員水曜日
委員会
灰初社
婦人会式
堅信式
レジオ
1月の行事



「福音帳」抄 (5)

わたしの神 続

山崎正俊

◎ イエス様が、私たちに求めていらっしゃる「とは、そんなにむかしいはずがありません。」く値打ちのない者であつても、ただ一生懸命に、神様の御心に従いたいと願つて生きているなら、それでよいとおっしゃつたのですから。実際に、いろんなきまりがあつて、守るのにはむつかしいこともあります。それができなくても、お見捨てはなりません。そのような者の中にこそ、イエス様は、おいでになつたのですから。◎ 一般に受け入れられている牛糞のほかにも、いくつかのよく知られていて、有史以前からあるとも云われる難解されていて、お隠れしている職業もあります。直接の関係はないと思われていても、誰もが、その字架のうえから、教えつづけておられます。

◎ その小説を読んだ若い日の驚きは、いまも消えていません。それは、「脂肪の塊」というあだ名で呼ばれているひとの、いまは誰もが忘れている物語です。第一次世界大戦中の或る夕方、或る村に一台の旅の馬車がやって来ました。その客たちは、そこの旅宿に一夜を泊ました。上頃しているドイツ軍の指揮官宿舎に当たつた。

られていても、その承認が得られたからです。併し、たいへんな」とになりました。客の一人を夜ときとして差し出せ、そうしないと、明朝の出发の許可をしないといつ命令が来たからです。はじめ、フランス人たちは困りましたが、相手として指名されていたのは、売春婦だと思われているひとでしたから、この要求は道理にも叶つたひかれぬるものであり、みんなをこから救ひ出すために、ドイツ人のところに行くのは、このひとの役目だとされたのです。一いつつして、出来できた馬車の中の様子は、昨日までとは変り、危険が去った安心感から、すべてが堪え易くなりました。「汚れた者として離れて坐らされた一いにえのひと」の、ひとりすすり泣く、悲しみのおえには、修道女の低い單口の祈りのほかに、何の心も届かない。)

横浜教区設立五十周年を迎えて

束原秀夫

本年は横浜教区設立五十周年を迎えて教区ではいろいろな行事が予定されることが想います。五十年を迎えるに当たって私達が呼掛けをうけている中に『共同体』に対するための刷新運動』がありますが、この承認の通りのことは司教様が数年前から機会ある毎に信託に示唆されて、これら、教区報の中でも幾度も共同体や運動の意義や「単直」について記述されております。



又当教会においても山崎神父様は常に信託相談の親和交流を重視されて、ございました。
「和」には大きく分けて三つの型があります。
その一是、「自分の慈悲や慈愛はなく只眞田的に首が行動し奇つかつてらい」として保たれている和。(主体性も責任感も全くない。)
二は「自分は本当は反対だが首と表面すれば自分でやく」として保たれている和。(面接感背責任は持たない。)
そして三は、「自分の考え方や希望を意思は明示し決まつた」としては積極的に協力する旨の努力でつくられられる和。(責任を持つ強い和)勿論既存の和が一番望ましい和であり中和田教會の一人一人の自覚と参画への努力ではないでしょうか。

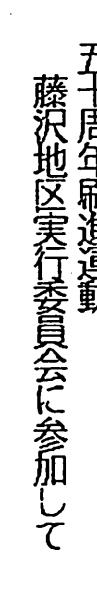
司教様が指示される「開かれた共同体」、「開かれた共同体」する為の刷新運動」とは何かを考える時、私達は先づ中和田教会の信者一人一人が自分は現在どうなのか。どうあるべきか。何を为すべきか。について自分の姿勢を考え、自らの姿勢で、私達は必ず中和田教会の信者一人一人が刷新から始める必勝があるのでないかと思います。教区設立五十周年を迎えるに当つて、当中和田教会並びに我々信者自身がそれを出来足してしまつて意義のある年を迎える自信を深くする次第です。以上に思ひます。

新しい年、殊に横浜教区に籍を置く私達にとって意義のある年を迎える自信を深くする次第です。



五十周年刷進運動

藤沢地区実行委員会に参加して



議事は

一、各教会の代表がそれぞの小教区の概況を報告

し、その後、開催され、中和田教会より壮年会五十周年会長と小野の一名が出席しました。

藤沢地区を構成する六小教区（藤沢、片瀬、大船、戸塚、鎌倉、中和田の各教会）より計二十八名が出席し、藤沢教会がハ神父様の司会で進められました。

婦人会だより

委員会だより

一、建屋改修の件
信徒総会で了承された改修工事に関して、花坂委員より施工業者に見積り、及び交渉の依頼をお願いした。尚、工事は堅信式（三月十九日）迄に終わる様に計画する。又、浴室、トイレの補修についても、見積りを依頼して、予算できし合はば、同時に工事を行う事とした。

二、堅信式に関する件
式次第については、前回と同様とし、取扱いは花坂委員。尚、堅信を受ける方は概ね二十名前後となる予定。

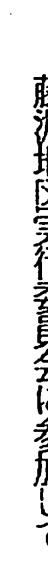
三、一月次決算報告
詳細は会計又は広報委員の所にあります。

壮年会だより

一月の例会が、八日三十名の出席のむじに開催されました。

二、六十一年度会計報告
会計より報告があり、承認されました。

三、五十周年刷新運動、藤沢地区実行委員会（第一回）参加報告
(詳細は壮年会実行委員の小野さんの報告を参照してください。)



一月十一日(日)午後二時より、当教会で行なわれます。多數)列席下さい。後半は、お話し合いの時間をおもちたいと思います。継続的でなくとも、いらっしゃる時にいつでもお気軽にお出かけになつて下さい。

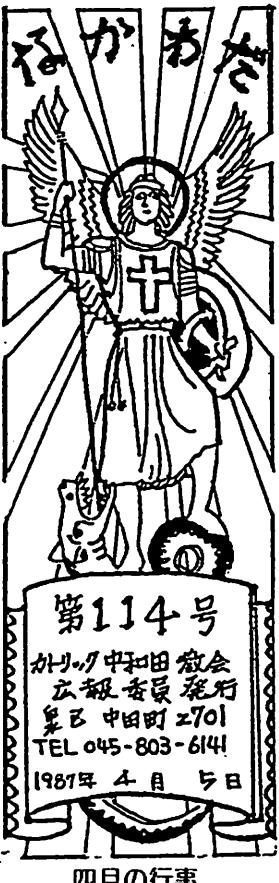
お知らせ

・二月四日(水)灰の水曜日、(大斎、小斎)灰の式は午後七時より

・昨年の灰は、その前日までにお持ち下さい。

・転入 イケナチオ 真浦 春夫さん
皆様どうぞ、よろしく。

小野 雅彦



「雑記帳」抄

(6)

わたしの神 続々

山崎正俊

気が付いたとき、そこに、その両親とその子の私がいた。与えられた受け入れられたものとしての出発点がある。気が付くのがあまりにも遅すぎると云つてみたところで、どうなるものでもない。さて、そこで、まわりの人のこととも気にしないから、自分の好みも加えてもらい、何かを選ばされる。それを、自分が束縛するされているとは云わない。

キリスト信者は、キリストの教えにもとづく教会の教えに従う者。その教えによると、二位一体の神を信じ、キリストの模範にならって、誠実に、思いやり深い心をもつて仲良く生きる努力をするはずで、靈魂の救いを大切なこととしている。だから、他の生き方を知らぬ親は、その愛する子に洗礼を受けさせ、救いの道をとのえさせようとする。

そのことを、誰かは、その子の自由を縛ることになると考え、子のうちの多くは、余計な重荷を負わされたと云う。そして、「反抗したり捨てたりする。或る人には、たいへんな廻り道をした後にやつとたどりつけた貴いものなのに、何故、他の人は、まったく値打ちのないものに見えるのだろうか。どうにもならないと思われるものは、そのまま受け入れるのに、何故、その親が最も良いものとしてととのえたものを、嫌つたりするの

だろ? が、人には、知らないうちに与えられる。何でも破つてみる癖はあるのか。それは、たしかだ。別のものを見つめ、親もあって、その子には、それがそのまま与えられる。あとでその子は、親とは異った生き方を開いたかもしないが、どのよつと道を進むことになるとして、も、例外なしに、その自然の法則は守らねばならないことを思い知らざることになる。つまり、人は、生命的の与え主に従わなければならぬのだ。その生涯のなかに、何を喜び、何を仕事として受け取るにしても、与えられた生命の意味を探し、その完成に向かう道をはずれないようにする自由だけしか、残されていない。経験から云えること。——キリストの生き様のなかに真美があり、「まだとかえしのつく間に、このキリストの道を教えられた」とは、まことに、幸いであった」

年度始めに当つて

婦人会会長 岩崎好愛

此の度、各地区での話し合いの結果、私どもへれました。地区六名が、昭和六十一年度の婦人会役員をつとめることになりました。

・三月十四日の星川様の追憶ミニサには、大勢の方が参加して下さい、御家族の方も、大変感謝しておられました。

・三月十九日の堅信式後の、焼肉、パーティーには、自分の家族分+アルファーのおにぎりを作つて来て下さい。

・御復活は、持ち寄りパーティーの予定だそうです。御協力よろしくお願ひします。

・バザー、「カニタ村」、おむつ、その他施設への寄附の為、古着を常時集めております。和室にダンボールを用意しますので、小さくなつて着られない物、不用の衣服をおもち下さい。

壮年会だより

二月の例会が、八日、十一名の出席のもとにされました。開催されました。

一、二月八日の教会委員会の審議内容につき、東原委員長より、その概要報告がなされました。そのうち、婦人会より意向表明があつた、バザー開催に関し、壮年会としての取組み、意向については次回の例会で審議されることとなりました。

二、前回より継続審議となつていた壮年会規約改訂の件は、時間の制約から次回例会で審議することとなりました。

三、五十周年刷新運動への対応について卒直な意見交換がなされました。

四、五十周年会長より、次回例会には青年層の方々にもご参加いただき、意見交換をしたい旨、意向説明がありました。

次回例会は、四月十二日に開催されます。会員各位のご参加を宜しくお願い申上げます。

委員会だより

一、聖堂、改築工事の件

三月一日より開始して、堅信式(三月十九日)までに終了するように工事工程を管理すること

二、堅信式関連

司教様をお迎えした後の、パーティーは前回と同じ内容とするが屋内で行つ。

三、バザー開催に関する件

小規模で収益を目的としなければ、地域住民、及び教会内部の理解、交流の為にも開催することが望ましい、との「メントが婦人会よりあり、この意見を尊重して、秋のバザーは行つ。

四、婦人会の委員会への出席依頼の件

定例会議に代表の参画を請う行つ。

五、その他



小野

編集後記

堅信を受けられた二十名の方々、御出度へ御座居ます。

司教様がお話を中で論じられた、「神から与えられた夫々の能力で得た益を自分の為了だけでなく、他の人々にも分けあえる」という事を考えて見て下さい。」——能力はその人のものでは無く、従つてそれは与え主に帰すべきもの——。私達にも大小の差はある、常に心掛ける必要なある事柄と思われました。

M・I

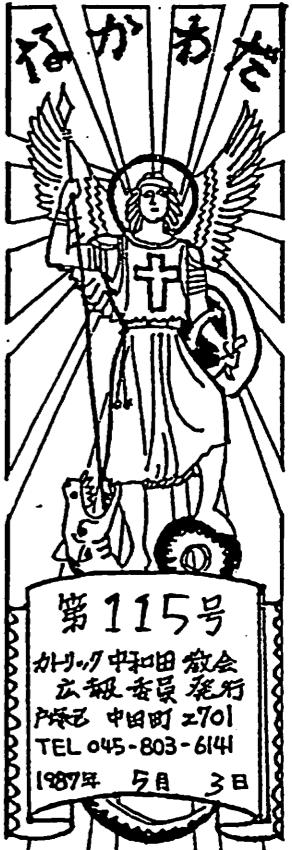
たり、家庭的に多忙であつたりしますので、それに時間をやり繰りしての取組みになります。ですが、互いに補い合ひ助け合つて、より乗り多い婦人会活動の原動力になれますように皆様方のご協力とご助言を賜りながら努力して参りたいと思つています。よろしくお願ひ致します。

さて、ここで、婦人会の現況について会員以外の方々にも知つて頂きたく、簡単に書かせていただきます。

現在婦人会会員は八十名で、毎月（八日を除く）第二日曜日ミサの後に例会をもつております。主な活動としては、教会行事におけるお手伝い、冠婚葬祭への参加とお手伝い、聖書などの他の清掃、親睦の為の遠足等の婦人会が独自の行事、また芸講習会等があり、これに加えてこの二月からは毎週水曜日午前十時からの聖書に親しむ集いも、例外なしに、その自然の法則は守らねばならないことを思い知らざることになる。つまり、その生業のなかに、何を喜び、何を仕事として受け取るにしても、与えられた生命の意味を探し、その完成に向かう道をはすればいいよつにする自由だけしか、残されていない。経験から云えること。——キリストの生き様のなかに真美があり、「まだとかえしのつく間に、このキリストの道を教えられた」とは、まことに、幸いであった」

今年は横浜教区設立五十周年記念の年であると共に、教会の刷新、福音宣教といつた外へ向けての教会のあり方が問はれ始めていますが、まさしく大切なことは、最单项位である家庭と共同体がしっかりと信仰・根柢しているかどうかということだと思います。しかし、参加はできなくてどちらで勝負をもつて活躍されたり、子育ての中であつたりで忙しい日々を過ごしていますので、全員が一致して参加ということは望むべくもありません。新年会の挨拶でも申し上げたように、活動に参加できない方も、決していささかもそのことを重視に感じたりなさぬようにしていただきたいと思います。しかし、参加はできなくてでも、心ではいつも一致して頂きたいと切に願っています。

今年は横浜教区設立五十周年記念の年であると共に、教会の刷新、福音宣教といつた外へ向けての教会のあり方が問はれ始めていますが、まさしく大切なことは、最单项位である家庭と共同体がしっかりと信仰・根柢しているかどうかということだと思います。しかし、参加はできなくてどちらで勝負をもつて活躍されたり、子育ての中であつたりで忙しい日々を過ごしていますので、全員が一致して参加ということは望むべくもありません。新年会の挨拶でも申し上げたように、活動に参加できない方も、決していささかもそのことを重視に感じたりなさぬようにしていただきたいと思います。しかし、参加はできなくてでも、心ではいつも一致して頂きたいと切に願っています。



わたしの神 付録一

アンケートに答えて

山崎正俊

司祭たちを教区報で紹介するための資料を作りました。アンケート調査がおこなわれました。何となく気がします、ためらつていろいろなハガキでせかされたりしたのに、それでも、返事を出しおひれしました。他の司祭たちのものだけ、私が欠けている、がっかりされる向きもあるかと思い返して、中和田教会の日報には、その回答を載せることにします。

① 今年一番したいことは、別に、「これといってありません。求められている」との幾つかを続けるという、これまでの習慣に従つつもりでいるだけです。

② 幼いときに、何になりたいか尋ねられて、大工になると云つたら、いけません、お父さんのようになると云いたいなど教えられたり、お医者さんにならなさいと云われていたりしたこと思い出しますが、自分のほうから、あれこれと主張したことには、特にありませんでした。何か手に入るために、他の人をおしえかけてまでもとうとうない」とには、堪えられなかつたのです。それでも、としどった主任神父様のお手伝いをしていました」と考へていたとき、神学校に行かないかとすすめられて、司祭への道をえらんだのですが、このときは、両親の気持ちなどすこしも思いやれず、許しを求める手紙を書きつづけるだけで、勝手に退職したらして、かなりの強引なところがあります。

・ 信者にならない壮年層の方々の中には、長男であること、先祖の墓の問題、等々故に踏み切れない人もいる。

壮年層の信者の方々に、これらの問題などの様に対処しているのか伺いたい。

・ これらの意見からもおわかりの様に、實に多様な角度からの発言が相次ぎ、またたく間に「時間が過ぎました」。

寒川委員会は、あまり先を急がずに、具体論に入る前に現状をよく認識することを基本方針としており、自由な発言の場が設けられております。次回は七月五日(日)午後一時より藤沢教会にて開催されますが、各位の積極的な参加を今後とも宜しくお願ひ申し上げます。

小野 雅彦

高校生会から



大宮 桂子

今年一年間、高校生会は横浜教区カトリック学生連盟(通称「学連」)に所属しております。昨年の十月に今までの活動が認められて、支部として承認されました。

さて、私達の高校生会は横浜教区カトリック学生連盟(通称「学連」)に所属しております。昨年の十月に今までの活動が認められて、支部として承認されました。これは、今までの諸先輩の方の御力の結果だと思います。支部として承認された現在、そしてこれからは、私達が活発な活動をしてゆく」とが何よりも大切なことだと思います。

高校生会としては、毎週ミニセミナーを行い、「リーダー」(聖書研究)と「R」(生活の見直し)=自分達が感じていることを話合う場」を中心的に、会を開催しています。昨年度は、年間の恒例の活動なのですが、Rの「貫として「靈魂」を作製いたしました。テーマは「いのち」でなかなかの力作だと思いません。また、学連では、春と夏に「教区大会」いう学連主催の会宿があります。

今までに書いたのが、対外的な活動ですが、教會の活動ですが、教會の活動があります。

五月十九日(火)婦人会の遠足、真鶴公園の予定です。

婦人会だよ

大宮 桂子

会内では、聖歌隊や聖週間のミサ朗誦などを担当させて戴いています。また、昨年は初めての試みとして、クリスマスマミサの教会内の装飾も致しました。無理なお願いも多くあり、神父様を始めとした無理なお願いも多くあり、神父様を始めとした御協力下さいました。澤山の方々に、心から感謝致しております。

それから、私の一年間の抱負ですが、私は大変なおしゃべりなので、話合いの場としての高校生会の中で、澤山の人の意見を「聞く役」になりました。無理なお願いも多くあり、神父様を始めとした御協力を下さいました。少しでも、メンバーが、高校生会をより身近に、そして自分にとって大切な命の思つてくれたら、と思っています。

常時来ているメンバード、輪ができるしまつている様に思われるかもしれません、そんなことはありません。教会内の高校生に、参加して戴きます。是非いらして下さい。お待ちしています。一年間、どうぞよろしくお願ひします。

- ・ 四月の例会が、十一日に開催されました。
- ・ 一、今年はとくに八名の高校生の方々にも御出席願って、教会の活動に関する意見をいたぐりました。
- ・ 二、バザー、山崎神父様御出張口座、建園修繕報告として、教会十年史の各事項の報告がありました。
- ・ 三、延び延びになつてゐる壮年会規約改正については六月の例会で審議することとなりました。
- ・ 次回の例会は五月十日(日)に開催されます。会員各位の御参加を宜しくお願ひ申上げます。

委員会だよ

四月五日(日)集会室に於いて開催

聖週間行事について

・ 本年秋に、近隣住民の方々との交流も含めて、具体的には未定であるが、この期間教会を留守にする事になる。

・ 聖堂建屋装備修等について、未補修箇所の塗装、その他の補修(浴室、トイレ等のタイルヒビ割れ箇所)工事が完了した旨報告があり、検査を行つた。

・ 宗教刷新運動に関する地区実行委員会が参加について。詳細は小野書記の記事を参照してください。

・ 詳細は会計又は広報委員の所にあります。

1日	AM 10:00	AM 10:00
3日		
10日		
17日		
22日		
29日	レジオ	

五月の行事

初金委員会会
委員会会
婦人会
10:00 AM
10:00 AM

講題としては、私達の共同体は今どきいるのか。
話形で進められました。
開かれていないとどう
言つているのか。
・ 共同体の一員としての連帯感が欠如していないか。(自分がリスト者であることを人に)
・ 教会の中でも「聴く耳」が十分ではない。「
「頑固さ」を、「氣弱さ」でつぶんだ「ふてぶて
した」のことでしようか。
・ 明然と、三千円を自由にできるとなれば、
すぐに困ってしまいます。だから、とりあえず
はそのままにしておき、なりゆきにまかせることがあります。そのうちに、誰かがよきにはからう。
・ ④ 今年の横浜教区の」とついてなら、五十周年のことが顕調にすすみ、それにともなって期待されています。そのままにしておき、なりゆきにまかせることがあります。
・ ⑤ 今年の横浜教区の」とついてなら、五十周年のことが顕調にすすみ、それにともなって期待されています。そのままにしておき、なりゆきにまかせることがあります。
・ 同体としての進展が見られ、キリストによつて生きる者としての意識の改革がおこなわれることを願つています。

・ 共同体の一員としての連帯感が欠如していないか。(自分がリスト者であることを人に)
・ 教会の中でも「聴く耳」が十分ではない。「
・ 押し付け宗教」ではなく、「相手を大切にす
る」「聴く宗教」が肝要。
・ 教会の中でも「聴く耳」が十分ではない。
・ 他の教会、団体の宣教活動を良く勉強した方が良い。完全な共同体が実現出来ているケ
ースもある。何故、教会が俗世界と同じ様な空虚気になってしまふのかよく考えてみる
必要がある。
・ 一般宣教を議論する前に信者がありながら
教会から離れていくた方々が大勢いること、
またミッションスクールに学んだにもかかわ
らず、信者となる人は極めて少ない等々の問
題にも目を向けるべきである。
・ 典禮の言葉を日本人にとってより意味のある
言葉に改めた方が良い。例えば、死者の月は
十一月であるが、これは日本の風土にあわせ
て八月にした方が良いのではないか。
・ 「開かれた共同体」実現の為には、まず我々
が行動する」とから始めよう。
・ 互いに連携して小さなことから始めよつ。
・ 頼つて、教会の活動に関する意見をいたぐ
りと共に、日常の高校生の皆さんのかトリック
学生連盟での活動状況を紹介していただきま
した。

・ 一、今日はとくに八名の高校生の方々にも御出席願つて、教会の活動に関する意見をいたぐりました。
・ 婦人会の活動は信者層の拡大に成果を挙げており、またバザーも未信者との重要な接点の場となつていています。
・ 婦人会の活動の例として、未信者の御主人を教会の夕食会に連れてきて、親睦、理解を深め
た。



6月の行事
(聖心の月)

サ

後
委員会
婦人会
レジオ AM10:00
7日
14日
21日
12日
19日
26日

同報、分離前後の歴史、当時のノート、聖母の
園、から塔藏すべき資料集め、そして、
第二回四月二十六日は、委員の分担役割を決め
専任活動部会を定めました。
以上、大綱スケジュールに基き、作業は進んで
います。更に、広範囲の資料収集を皆様にお願い
するため、御聖堂人口の所へ「お聞かせ下さい
ボックス」を設置、何度もタイトルを掲示して、
協力を請いました。よろしくお願ひ致します。

わたしの神 付録 ②

——けったいな女命

山崎正俊

突然、思い出した。あのままの私が、世間並みに進んだとしたら、必ず、あのひとの人生を狂わせていた。だから、司祭としての道を選べたのは、とても、有難いことだ。

学校では出来のよくなく、身勝手な、物思つ少なかった。国鉄の保線事務所に就職するまでにならせていただいたのに、あまり仕事熱心ではなかつた。たとえば、鉄道員ならばすぐに読みはじめなければならない、何とか必携といつ部厚い提要是、買っただけの積木のカタチ。関心があつたのは、手当たり次第の文書書や宗教書の乱読の持合せはない、ひとりよがりのおひとよし。だから、神学校に行へることをするあらわれたことがある、その気になせられたのは、深い意味はわかつていなかつたが、人生の脱落者になつてしまふのを妨げるため、神様の例外的なおはからいだたらしい。

途中で召集令状が来たのも、神学校でのゆきづまりを、巧みに外れさせてくださつたのであり、善意による買いかぶりのうちに暖かく包んでいただけとかは、神様がやむなくどうれた責任だったのか。神学校での難関は、そのような流れに乗つたのは、手当たり次第の文書書や宗教書の乱読の持合せはない、ひとりよがりのおひとよし。

私の甘えには限つがない。神様の御苦勞にも、止むことがなく。むつかしいことならほんのすこし。無理なことならばつどりをもたせ。与えられた場所で、聞く合つてがやきれば、それでよしとしておひねるとよい感想。

私の甘えには限つがない。神様の御苦勞にも、止むことがなく。むつかしいことならほんのすこし。無理なことならばつどりをもたせ。与えられた場所で、聞く合つてがやきれば、それでよしとしておひねるとよい感想。

転勤じか、何かの事件とかを節田し、新たな方へ向ても田を注がせ、理解と知識を乞うさせながら、なりゆきにまかせて生きる喜びを味わせてください。神様。これからは、「これまで以上にも、我を忘れた無欲の奉仕のまねじ」と手伝わせてください。よろしく、お引き回しのほど、お頼み申しあが。

十年中現況と協力要請について

私達の所属する教会の歴史は、私達田舎の信仰の年輪でもあると思います。

あの時代はどうだったかと、来年発刊するカトリック中和田教父十年史は、後世に残す伝承の年史でもあります。

第一回編集会議、月十五日で、昭和四十九年を

起算とし、献堂式を含む以降の年表作成着手。

第一回三月十五日は、瓦塗教室、中和田教父

園、から塔藏すべき資料集め、そして、
第二回四月二十六日は、委員の分担役割を決め
専任活動部会を定めました。
以上、大綱スケジュールに基き、作業は進んで
います。更に、広範囲の資料収集を皆様にお願い
するため、御聖堂入口の所へ「お聞かせ下さい
ボックス」を設置、何度もタイトルを掲示して、
協力を請いました。よろしくお願ひ致します。

尚、委員分担は、以下の通りです。

編集委員長 山崎神父様
社年会開運 妇人会、瓦塗教室、宣教開運
新出信使、宣教開運
当教区関係広報監査
広報アスク
要理学校、レジオマリー、
各学生会及び、事務チーフ 小谷委員
一粒米開運 宮崎(幸)委員
十勝委員
宮崎(佐)委員
阿部(寿)委員
石井委員
小野寺委員

委員会だより

・駐車場の整備について
自動車による来登者が増加している現状より
教区内の駐車場所を整備する」とと併せて、他の場所を選考して、対処することに成了た。

社年会だより

催されましたが。

一、教会委員会の小谷副委員長より、中和田教父十年史編集委員会の活動経過報告、及び今後の活動予定について報告がなされました。

二、駐車場の混雑に鑑み、場内にライン(ロープ)をひいて整理する」ととなり、来月の社年会後は「作業に入る」とになりました。

三、山崎神父様の御出張期間中(詳細は委員会だより参照)の留守番を社年会も分担させていただくこととなりました。

四、九時の御ミサの始まりが、告解の時間との兼ね合いで遅れがちですが、本件については、東原委員長より信者各位に極力早めに告解を終えていただく様、御協力をお願いする」となりました。

五、社年会規則の修正について審議がなされ、一項目につき修正内容が決定されました。

お知らせ

・駐車場の整備について
自動車による来登者が増加している現状より
教区内の駐車場所を整備する」とと併せて、他の場所を選考して、対処することに成了た。

社年会だより

催されましたが。

一、教会委員会の小谷副委員長より、中和田教父十年史編集委員会の活動経過報告、及び今後の活動予定について報告がなされました。

二、駐車場の混雑に鑑み、場内にライン(ロープ)をひいて整理する」ととなり、来月の社年会後は「作業に入る」とになりました。

三、山崎神父様の御出張期間中(詳細は委員会だより参照)の留守番を社年会も分担させていただくこととなりました。

四、九時の御ミサの始まりが、告解の時間との兼ね合いで遅れがちですが、本件については、東原委員長より信者各位に極力早めに告解を終えていただく様、御協力をお願いする」となりました。

五、社年会規則の修正について審議がなされ、一項目につき修正内容が決定されました。

・駐車場の整備について
自動車による来登者が増加している現状より
教区内の駐車場所を整備する」とと併せて、他の場所を選考して、対処することに成了た。

社年会だより

催されましたが。

一、教会委員会の小谷副委員長より、中和田教父十年史編集委員会の活動経過報告、及び今後の活動予定について報告がなされました。

二、駐車場の混雑に鑑み、場内にライン(ロープ)をひいて整理する」ととなり、来月の社年会後は「作業に入る」とになりました。

三、山崎神父様の御出張期間中(詳細は委員会だより参照)の留守番を社年会も分担させていただくこととなりました。

四、九時の御ミサの始まりが、告解の時間との兼ね合いで遅れがちですが、本件については、東原委員長より信者各位に極力早めに告解を終えていただく様、御協力をお願いする」となりました。

五、社年会規則の修正について審議がなされ、一項目につき修正内容が決定されました。

・駐車場の整備について
自動車による来登者が増加している現状より
教区内の駐車場所を整備する」とと併せて、他の場所を選考して、対処することに成了た。



婦人会だより

五月の例会が、十七回十五名の出席で行われました。第三木曜日、十時より夕方までバザーの奉仕口です。都合のよい時間でけつじつですお手伝い願いします。

・御復活に、あまり美の園へオムツを送りました。そのお礼が届きましたのでお知らせします。『本日はあま美の園にとって一番大切なお品を届けていただき、誠にありがたく厚くお礼もつしあげます。感謝むひとしきを大きいものでござります。いつまでも忘れず、つながつていて下さる事は大きな力でございます』と感謝の手紙です。五月は和泉地区が十六日オムツを送りました。六月は播磨地区の当番です。ようしくお願いします。オムツの材料として、ユカタ、ネルの着物、バザーの材料として、手糸、フェルト、布その他御寄附下さい。アイディア等も、あわせてよせ下さい。

・聖書の勉強会を毎週水曜日、十時より行っています。どなたも、お気軽にお出掛け下さい。婦人会の講師二十四名の方が参加して、真鶴半島に行つきました。暑空でしたが、時おりうすいもどります。どなたも、お気軽にお出掛け下さい。サボテン公園を見学、海を見おろしながらの昼食、小田原では、カマボコ工場を見学、楽しい一日を過ごしました。

・建設資金の通知預金への切り替えの件

・四回度会計報告

以上。



お田代町の御迷惑です。

2003

お田代町の御迷惑です。

転入
ペトロ 桃田 敏光 (長崎 平戸教父)
・ミニコ 川崎 秀文 (長崎 聖心教父)
フランシスコ 鈴木 志見 (長崎 稲佐教父)
ルチア 山本 肇子 (新姓 井上)
井上 真

小野

住所
旭区四季美台 059-224ハイツ四季美台
電話 0901-4014



7月の行事
委員会会
ミサ後
5日
12日
19日
10日
17日

レジオ 10:00

わがやめかね日本へ

——トルストイ ③

山崎正俊

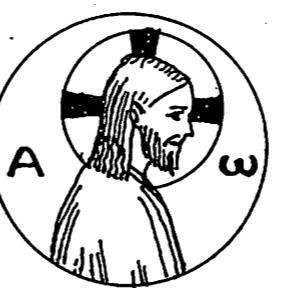
「宗教的信念に燃える強き意志の人」であることを理想とし、「トルストイ」を選擇する人物と記したその記憶は、いまも、私の心に暖かいもの溢れさせます。それでトルストイを介して、この二年ほどの間に知りあえた人たちを、大切にもちたいのです。

杉本君への返事。——「私が貴方に興味を覚えましたのは、カトリックの神父さんでありながら、敢然として、トルストイを読まれている」と聞いたからです」に答えて。

神学的に問題があるのは明らかでも、気になりません。敢然として読んでいるのもあります。幼い口に受けた感動が、いまに続いているだけです。かたくなさよりも「神への誠実さ」が尽くされる姿勢の故だ、私にとって、トルストイは「神の使徒」です。

トルストイがしている、当時のロシアの教会のありかたについての批判は、その多くの点において(というには、まだそれほど)私はよく知っているわけではないのでどうりでですが、知るかぎりにおいて、当たっており、現在のカトリック教会に対しても、反省すべき点をさし示めしておられ、(教会は、そのはじめの善意にもかかわらず、道徳的立場の人たちの欠点のために、もっとも救いを必要としているのかもしれない人たちを、神様から離れてゐる働きをしている)とかあります。

した。これからもあるでしょう、と見ていています。それでも、カトリック教会に留まり、それを離れるつもりがない理由は、「いまのところ、この教会の中にいて、キリストを教えられた学ばれる」とは、私にとっての最高の道だと信じられるし、それがによってだけ、キリストに対する、キリストの御歎を行けることになるだろうという、まだ残されているこの教会の誠意が、感じられるからです。教会の歴史も一般の歴史と似て、犯罪の歴史でもあります。しかし、教会の歴史は聖人の歴史の面を持っています。トルストイはそのうちで、その善と真実へのひたむきにいて、聖なる人です。だから、二十歳の時のように、これからも私の生きる模範としてのその著作を読み続けたいし、その人柄へのしたしみを持ち続けたいのです。



ことじぢわ

高校生の例会は、毎週ミサ後、接室で行われています。学運より発行される「リーダー」(どんなものかは是非御覧になって下さい)が中心になっています。それぞのメンバーの事情で毎週必ず「必ず」してくるわけではありませんが、お暇な方、興味のある方、応援室へいらして下さい。必ず参加しましょ。

右記の学運主催の夏期合宿の他、「中和田教会高生奉仕部」として、夏休みに、一日の予定で高校生会を開きたいと思います。現在、まだ検討段階ですが、親睦を深める会、行いたいと思います。

「希望」高校生では、印刷機があると大変便利だなあと思っています。中古でも何でも構いません。操作しやすく、きれいに刷れる印刷機を教会に設置していただけないでしょうか。

委員会より

一、山崎神父様御靈名の祝日(六月)十一(日)

二、留当番、協力依頼の件

(詳細は前回参照)

三、駐車場整備の件

(詳細は前回参照)

四、教区刷新運動に関する特別献金要請の件

(この献金の期間は来年二月迄です。)

五、十年史闘争資料整理用の備品整備の件

小谷委員より要請があり、委員会ではこれを了承した。

六、会計報告

月次(五月末)決算報告書

詳細は会計又は広報委員の所にあります。

六月の例会が、十四日(土)九名の出席のもとに開催されました。

一、駐車場の件

場内にロープでラインをひく生は、安全圧および費用の観点から取止めとし、当面は車ナンバーと所有車氏名の登録からスタートする」となりました。

二、立場地区の巡回整理の動きは、横浜市が地区住民の反対により、その案を撤回し、ひとまず一旦戻ったことが報告されました。

三、山崎神父様の靈名の祝日(六月)十九(日)の対応

教区十年史

横浜司教区五十年の献金の各項目について

報告がありました。

小野

お知らせ

・駐車場の整備について

車による来室者が増加して來ている現状に対し、少しでも改善出来る事が有ればと、公認会を開催する事になりました。自動車、バイク、自転車等で教区に来られる方々の出席を是非お願ひ致します。

日時 七月十六日(日)ミサ後

場所 御聖堂

転入 六月七日

洗礼 マリア 吉 哲子 (きつかわ ひるい)

長野教会より
マリア・クリスチナ 中村 茜子 (ねりこ)

和泉町 四月十五 メゾン・ド・立場一〇二

十日(土)夜七時ミサは有りません。

十一日(日)七、九時のミサは「ルフ神父様です。

お田口度の御座居ます。

・山崎神父様、御立派に生つミサに開して下さい。

十七日(土)夜七時ミサは有りません。

十一日(日)七、九時のミサは「ルフ神父様です。

お田口度の御座居ます。

・中高生のコーナーを設ける予定です。

この企画は中和田教会、皆さんの物です。

その急いで皆様の理解、ご協力を必要です。

貢献、ご要望が有りましたら、遠慮なくお聞かしくお願いします。



中和田教会ボランティヤ有志より

聖母の園表入第一等で、お手伝い出来る方は申し立て下さい。尚、詳細についてはお嬢婦人会長迄連絡ください。

9月の行事

6日 委員会 ミサ后
13日 壮年会 "
20日 婦人会 "



第 118回

カトリック中和田教会
広報委員会発行
泉区 中田町 2701
TEL 045-803-6141
1987年9月6日

横浜教区50周年事業へ参画のお願い

先の四旬節第一主日（3月8日）より横浜教区50周年の年が始まりました。

50周年を期して、自からの刷新運動によって福音宣教共同体に生れかわろうと「教区実行委員会」が中心となり具体的な刷新を行なおうとしています。

その為には各段階で相応の資金が必要で、その総額は850万円となります。この必要資金は各小教区等の献金と寄附によって賄われる予定ですが中和田教会としては教区50周年への参画意識高揚の主旨から別途に献金箱を説け皆様の御参加をおあぐ事といたしました。献金箱は通常献金箱の横に来年3月迄、設置いたしますのでよろしく御協力をお願いいたします。

1986年全世界の人口は約50億その内カトリック教徒は9億、5人に1人はカトリック教徒です。次はイスラム教で8億40万人、その次はヒンズー教で6億5千万人となっています。横浜教区では1400万人の人口の内カトリック信者は43000人で約3%、教区50周年を期した刷新運動により開かれた共同体としての発展を祈りたいと思います。

橋 幸 雄

夏合宿

私は8月10日から13日まで静岡の修善寺にあるユースホステルでの夏合宿に参加しました。参加者は、神父様、スタッフの大学生、高校生、全部で約70名くらいで、中には広島から来た高校生もいました。ユースホステルには、おもしろいおじさんもあり、長いようで短い3泊4日の合宿をおえたのですが、合宿中は、学校の友達とは話すことのない話やふだんぜんぜん考えないことがいっぱいでした。

今回「私たちについて考える」というテーマにそってセミナー（話し合い）で話合っていったのですが、セミナーがすすむにつれ他の人たちが自分の信仰論、自分の考えをしっかりもっているということにすごいと思い、KPT（カトリックプロジェクトチーム）の人が中心になって皆の意見をひっぱり出したり、まとめたりして皆をひっぱっていました。

春合宿の時は大学生が中心だったのですが、今回は、KPTの人たちが中心になって計画をたててくれました。その計画の中には、フリートークやあそび、KPT自由きかく他いろいろありました。フリートークは、みんなが（私もその中の一人なのですが）雑談会のようにしてしまいKPTの人に大変迷惑をかけてしまいました。すいません…

あそびは、サイクリング、ハイキング、プールの3つにわかれていて、私は、ハイキングをえらんだのですがその時にあそんだ広場が夜行われる自由きかくのきもだめしのスタート地点になるなんて考えもしないでみんなとかんけりやバーレーボールなどをしてあそんでいたのです。「暗い」というだけで嫌なのに出発する前にこわい話が2、3あって途中「わっ！」とおどかしがあったりして、こわかったです。皆はこわくなかったようなことを言っていましたが私は、こわかったです。

でも、どれも楽しかったです。そしていろんな人にあっていろんなことをして、いろんなことを考えて、合宿中に得たものは大きくてけてムダな経験ではないということは、私が今まで参加してきたどの合宿にもあてはまります。

合宿に参加してよかったです。今から次の合宿が楽しみであります。

高校生会会員

委員会だより

7月5日 集会室に於いて開催

- 1、ミサ謝礼の件（7月12日ウルフ神父様）
- 2、婦人会より親睦バザー開催について
・近隣、未信者の方々を対象として、
・小規模、あまり収益を目的としない、
・10月25日頃を予定。

上記に關し東原委員長より開催を前提として、各会に対して、準備会（合同委員会）の設立を9月6日（日）に依頼する事とした。

3、敬老の日の為の用意

委員長、花坂委員に検討を依頼した。

4、夏期子供会開催の件（井上委員）

- ・8月6～8日 徒歩と同じ内容で。
- ・カトリックセンターに於いて9月15日研修会（教会学校リーダー達の為の）が予定されているが、当教会からの出席も希望したい。

5、会報様式変更（横書き）の件。

6、9月27日 10年史開催

各委員はそれまでに資料を集めて置いてほしい。（小谷委員）

壮年会だより

7月の例会が、12日に9名の出席のもとに開催されました。

1、委員会報告、

東原委員長より、委員会審議事項としてバザー、敬老の日、教会報、夏期学校、教会学校リーダー養成講座の各項目について報告がありました。

2、50周年地区実行委員会

7月5日に藤沢教会にて開催された第四回例会について報告が、五十嵐委員長、石井委員よりありました。

3、8月6日より3日間行われる夏期学校の詳細内容が井上委員より報告されました。

4、8月9日に教会の庭の草むしりを行うことが決りました。

小野

婦人会だより

7月の例会が出席者25名で19日に行われました。

・討議に先立ち、7月5日の教区50周年のための地区実行委員会に出席された、石川様、山本様より、その時の報告がなされました。

・夏期子供会に例年通り今年も、1万円の援助をします。

・先月「あま美の園」にオムツと古着を送りましたが、そのお礼状が届きました。

・8月は第3木曜日だけ、バザーの奉仕日になります。

いつもお手伝い難うございました。お陰様でティッシュカバー、雑布、クツ下カバー等は、ほぼ予定通り出来上り、今はエプロン、袋物、お弁当カバー、クリスマスツリー等お願いしています。木曜日に来られない方も、裁断して、説明書が同封してありますので、ごミサの後にでも、奥の部屋にお立ち寄り下さりお持ち帰りご協力お願いします。

・この度の丸田様、高橋様、のお通夜・告別式には多数ご参列、お手伝い下さりありがとうございました。

お知らせ

転入

マルガリタ 松尾 しめ子
泉区中田町3361-41 松尾荘 2号
TEL、803-3772

マリア 勝俣 厚子
泉区上飯田町2056 TEL、804-6058

転居

マリアテレジア 武石 真由美
泉区中田町 258-25 TEL、801-4537

転出

マリアテレジア 深井 登美子
クララ しげる
セシリ亞 たける
テレジア 郁子
ペトロ 聰彦
新住所 埼玉県入間郡毛呂山町大字
長瀬1112-4

編集後記

多少マンネリ化した今までの広報を今月号より趣を事にしました。これに付いてのご意見、ご感想が有りましたら、広報までお連絡下さい。よりよい広報にしたいと切望していますので、ご協力をお願い致します。

M・I

10月の行事（ロザリオの月）

11日 壮年会 ミサ後
婦人会
25日 バザー
9日 16日 23日 30日
レジオ AM10:00
・ロザリオは日曜日
ミサの前に唱えます。



遊行記

①

山崎正俊

◎ 中国。其処には、大きすぎて、私のカメラにはおさまりきれない古い時代の遺構や遺物が、あふれていた。そして、広すぎる大地には、その時どきを生き残った人の子孫たちが、必死の経験から抜出し、それを忘れさせたかのようなどかさをただよわせていた。そのあまりの大きさと広さと美しさとに打たれ、いくつかの国宝級のものその他には、どこでも、博物館の中でも自由に写せたのに、カメラを手にしていたながら、何もできなかた。くだらないものもあったが、こちらに伝えられていた情報の多くは、たとえば見る者を、カッコよくとりつくろう政治的なへつらいに飾られていたり、共産主義に対する憎しみや思い入れにねじまげられていたりしたもののように感じられた。はじめには、混乱からくるゆきすぎやしばらくの厳しさがあったろうし、それが今も残っているようだが、戦後も40年もの社会的訓練は、人々の生き様を変えさせるところがあったと思われる。治安には、日本地内よりもととのったところがあり、かえって、同行者の方に、意外な、精神的怠惰な点が表れて、反省させられた。

◎ 北京では、南堂と称される司教座聖堂を訪ねることができた。その入口の建物にいた二人の中年の婦人（修道者だということであった）は、にこやかに迎えてはくれたが、いまはお昼寝の時間ですからという口実によって、司祭たちに合うことを妨げた。——広州では、イエスの聖心天主堂の主任司祭・林神父は、ローマンカラーを付けた白の背広姿で、司祭館の応接間に、茶葉の接待をもって、約1時間も話合ってくれたうえに、心よく記念写真にも入ってくれた。三分身像を写そうとすると、ちょっとポーズをとり、「ありがとう」と日本語で、応えてくれた。74才のこの人は、13年間の強制労働の体験があるのだそうだが、それは、一般の労働者の生活とその苦しみや悲しみを知ることになり、いまに役立っていると話していた。私には、その言葉は殆んどわからないが、あとで聞くところによると、第2バチカン公会議とその後のことは、ホンコン経由による英語通訳で、くわしく伝えられているとのことであった。ミサはラテン語で、典礼改革以前の形式と典礼文でささげられておるそうな。（続く）

50周年刷新運動
藤沢地区実行委員会に参加して

7月5日に藤沢教会にて第4回目の例会が開催

第119回

カトリック中和田教会
広報委員会発行
泉区 中田町 2701
TEL 045-803-6141
1987年10月4日

され、藤沢地区ブロックを構成する6小教区（藤沢、片瀬、大船、戸塚、鍛冶谷、中和田、）より22名が出席しました。

当中和田教会からは、委員会より石井、婦人会より石川、山本、壮年会より五十嵐、小野の計5名が出席しました。

今回は、予め通知されていた3テーマ、
1、地域やこの世界をみ旨に適うものとするとは
どの様なことか、
2、私達の教会はどの様な現状か、
3、私達はどの様なことが出来るのか、
について各出席者が考えるところを述べる形で進められました。

内容的には、主として各小教区の現状および活動状況の報告が多く、次にいくつかの出席者の発言をご紹介します。（自由な発言であり相互の脈絡はありません。）

- ・学園の発展=地域の発展としてとらえている。
(地域に融和した学園。白百合学園に勤務しておられるシスター)
- ・学園生徒の父母を対象とした集りの活動
(信者、未信者を問わない。白百合学園)
- ・藤沢教会における諸活動
:結婚準備講座
:ボーイスカウト／ガールスカウト連合会
:フリーリッピン友の会
- ・後継者作りを通して教会の活性化を図っている
- ・とかく信者、未信者のレッテルをはりがちである。未信者の方からみると一步さがっていないと悪い様な雰囲気をつくってしまっている。親しく何でも相談出来る雰囲気をつくりたい。
- ・「カトリックの人達は冷たい。新興宗教の人達は一緒に泣いてくれる」という様な批判があるこの様な批判に眞面目に対応していくなければならない。
- ・相互の体験の分かち合い。
:神父様の御説教を「いいお話を聞いた。」で終わらせてしまっては何にもならない。
いかに実践するかが肝要。
- ・相手を叩きつぶす企業の競争原理の中に身をおいているサラリーマンの信仰。
- ・家庭内の問題、一致に関する体験。
- ・養護施設に於ける活動。
職員（未信者）に対する要理講座も始めた。

尚、地区実行委員会の今後の運営方法について多くの意見が出され、次回の例会の内容、日時等については別途事務局が検討の上連絡することとなりました。

記 小野雅彦

委員会だより

9月6日 集会室にて開催

- 1、婦人会会長より敬老会（9月15日）に対象者を招待して、神父様を交えて、昼食会を開催したいとの要望があったが、今年は、時間的にも無理なので、次年改めて、検討する事とした。
- 2、バザー（10月25日）
 - ・基本的には、従来通りとし、企画、運営は、高校生会が、中心となる。
 - ・9月27日、合同委員会を開催。
- 3、複写機（寄贈）に関しての取扱いの件
- 4、近隣に2ヶ所駐車場を確保（主に、主日、クリスマス、イースター等のミサ時の為）
・詳細に関しては、小谷委員、広報委員まで
・教会敷地内の駐車スペースの取扱いに関しては、利用方法を改めて討議する（小谷委員）
- 5、会計報告
月次（7、8月）決算報告
詳細は会計又は広報委員の所に有ります。

壮年会だより

9月の例会が、13日に6名の出席のもとに開催されました。

- 1、懸案の教会駐車場に関し、「くるま屋ラーメン」及び横浜銀行の駐車場が利用出来る様になったことが小谷委員より報告がありました
本件については別途なかわだ会報にて御案内します。
- 2、五十嵐会長より、壮年会にまつわる10年史のとりまとめ資料が披露され、説明がありました。
- 3、山崎神父様より、中国御出張の印象についてお話がありました。

小野

高校生会だより

ここにちは、10月25日は、皆様も御存知の通り、中和田教会のバザーですね。

今年、中高生会は、合同でバザーにとりくむことになりました。今回初めて、飲食物を壮年会より委託されました。多少、戸惑ってはいますが是非頑張ろうと思います。中高生会で足りない分は皆様に御協力を求めるようあると思いますので、よろしくお願ひします。また、ゲームも致します。特に、小学生の皆さん！ 絶対にゲームをして下さいね！ また、御家庭に、賞品になるような品物がありましたら、御寄附下さい。よろしくお願ひします。

大宮

お知らせ

高校生会諸君の要望（なかわだ会報 117号で既述）が適って“コピーマシン”が寄贈（匿名希望）されました。

委員会では早速教会の事務室に設置して寄贈された方のご好意に感謝し、維持管理を行います。

使用される方は、花坂、橋の両委員か、山崎神父様に申し出て下さい。

結婚

トマ 真浦春夫さん
テレジア 智美さん
(旧姓 田川)

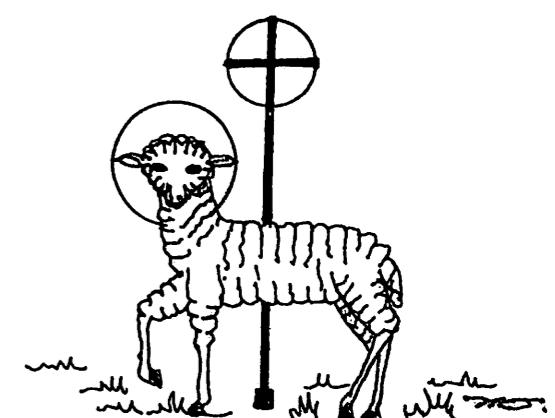
住所 緑瀬市吉岡 522-B
お目出当うご座居ます。

0461(79)0357

おくやみ

- ・マリアクララ 中島喜美子さんの御尊父
伊藤 貢さん（88歳） 8月20日 逝去
- ・アウグスチヌス 小野寺 功さんの御母堂
小野寺 マサさん（84歳） 8月24日 逝去
- ・マリア吉田万貴子さんの妹（萩原美津子）さん
8月13日 吉祥寺教会（東京）に於いて葬儀。
- ・アンナ 下村友子（瀬谷）さん 8月18日 逝去
19日 ご自宅に於いて葬儀。

皆様のお祈りをお願いします。



11月の行事（死者の月）

1日 委員会 ミサ後
8日 十年史 "
壮年会 "
15日 婦人会 "
レジオ 13日 20日 27日
AM 10:00
(19日 宮下神父様ご訪問)



第120回
カトリック中和田教会
広報委員会発行
泉区 中田町 2701
TEL 045-803-6141
1987年11月1日

遊行記

②

山崎正俊

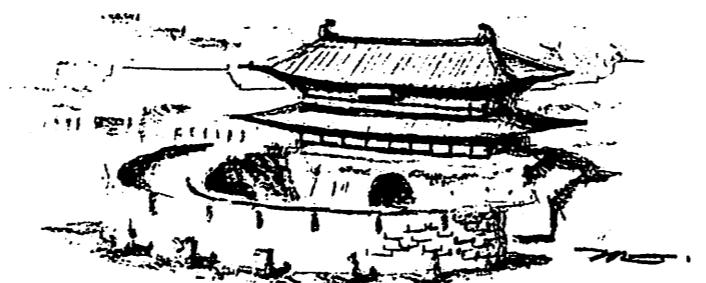
（続き）文化大革命の間には、ステンドグラスは壊され、倉庫にされていた。1979年に再開されるのだが、昨年のクリスマスには3回のミサに、全部で4400人の人があつかった。この広州教区には、司教と5人の司祭が勤めており、大神学生は7教区の21人が在籍している。——その何の警戒もなく話しているように見えるのは深い苦惱から出る演技なのだろうか。それにも、「司祭のうちで、私がいちばん若い」とはどういう意味か。私たちの善意は誤解されることなく相手に伝わっているのだろうか。観光旅行中の司祭が、どこの教会でも、司教団なんかではなく、主任司祭の判断だけで、ミサをささげられる日が、この国にも来ますように……。

◎日本円の40円が、中国の1元だから、中国の150元は、日本円の6000円。実はサラリーマンの平均月収が中国では、北京でも西安でも桂林でもこれぐらいで、3人家族（人口の増加を防ぐために、『子供は一人に』という家族計画が国の当面の方針）で、つましくすれば生活できるのだそう。食料品と住居の値段が、統制によって日本では考えられないほどに、安く抑えられているからだという。30年前の日本での生活費は、一日1ドルほどだった。1ドルは、公定の為替レートで380円、ヤミで約500円。

アメリカではそのとき、散髪代が2ドルもしていた。それに似たものが、いまの中国と日本との間にあるのだろうか。中国に行って、安いからというので、やたらと食べたり飲んだりして札ビラを切り、やたらと買い物されることに喜びと満足を感じたりすることは、それは自づからの責任においてすることで、他の人の楽しみに、それほど目くじらをたてることもないが、私は気おくれして、恥ずかしさを、どうしようもなかった。ついでに言うと、旅行者のための「北京ダック」は、ひとテーブル700元（日本円で28000円ということになる）で楽しめたし、上海空港の商店では、ふつうの中国古典音楽テープだが、日本円の250円で買った。しかし、これは為替レートだけでは、計れないはず。中国の一般的な生活費からすれば、べらぼうな値段でカメラなどもまだ、ぜいたく品の部類なのだそう。

そして、労働時間は普通では、午前の8時から12時まで、午後の3時から6時までとなっており、昼食は自宅でとり、昼寝さえもしているらしい。職場の数がすくないので、職を離れると、待職者と言われ、能率給がなくなるので、収入はそれだけなくなるのだという。でも、とし老いた両親の生活費は、その子の責任だとされているから、もし出さなければ、訴えると、強制的に天引きということになるのだそうな。それから、日本やアメリカなどを見て来たこの国の人たちは、中国を貧しいと感じるそうな。政府は、それが気に入らない。観光客などが高い買物をするので、物価があがり、一般の生活が圧迫されるという不満も出はじめ、個人商店が認められるようになるのはよいが、金持ちが金にあかして勝手なことができやすくなり、貧しい者がいよいよ困ることになるのは、この国でも同じらしい。

◎ 観光客に見せようとするコースは、その古き良き時代の栄華の遺跡とか風光の奇異、現代風歐米化の造形であるらしくて、その保存と修復と共に、新しい建設に力がそそがれている。そこにはいつの時代にもある権力者の恐ろしさが迫ってくる。一般大衆の血と汗と涙が、どれほど流されたことかと、胸つぶれる思いに打たれた。特に近世ヨーロッパの繁栄の陰にある理不尽さが、奉仕させられた人々の犠牲と忍耐に似たものが、中国の過去にも在ったし、現政権のもとにもあるだろうのに、貝のように口をつぐみ、時の変わるので待ちつづけていた大地の民の、その生活力の根強さを、あのバール、バックの王龍やその子たちの物語りと、かさねあわせては、あれこれと思いつめらしていた。——日本でもその例外はなく、同じことがあった。次々と新しい権力者は表われるが、どんなに強くても、よくもわるくもおしなべて消えていった。その国の輝かしい歴史、それは、その国人々に自尊心を与えてくれるかもしれないが、大切なものはそれではなく、いまとあすへの生き様なのだ。民族の栄光ではなく、一人ひとりの、生命の与え主への応え方こそが大切にされなければならない。その時、あらゆる差別は意味を失い、神の平和が、あの「主禪文」の、特に前半の祈りが、現実のものとなる。



委員会だより

10月2日 集会室に於いて開催

1. 親睦バザーの件

9月27日開催したバザー連絡会時、提案のあつた意見を中心に細部検討を実施。

・会場 雨天の場合を考慮し、聖堂内も利用出来るよう準備をする。従って出店の割当てを次の通り（予定）とする。

聖堂—婦人会（雨天の際は半分を休憩場に）

会議室—中高生会

集会室—婦人会（飲食物関係）

テント—壮年会（一部休憩用スペースに）

・駐車場 横浜銀行、及びサーティワンの横（トヨタカローラ前）の各駐車場を利用。

・準備 10月24日 14:00~18:00

壮年会、中高生に協力を要請。

その他は9月27日打合わせの通り。



壮年会だより

10月の例会が、11日に9名の出席のもとに開催されました。

1. バザーの件

・前日（24日）テント張り、聖堂のマット敷等準備の手伝い。

・ポスターの色塗りに要理学校の協力を依頼する。尚、その配布は小谷委員が近隣に対して行う。

・当日の駐車場の利用に関しては小谷委員が取締めを行う。

2. 壮年会の在り方について。

バザーの後、反省会を開いて意見の交換を行う。

3. 10年史の件

・山崎神父様よりエピソードに関する資料が不足しているので協力してほしいとのご依頼が有りました。



婦人会だより

バザーに出品致しました、手作り品、お茶、お漬物、その他、在庫がございます。ご入用の方は婦人会の委員迄ご連絡下さい。

高校生会だより

今月はお休みいたします。

お知らせ

・受洗

使徒ヨハネ 勝俣 邦彦ちゃん
勝俣 厚子さんの長男

・ご結婚

11月1日（日）山手教会に於いて
ヨハンナ エリザベト 甲斐 真由美さん
鈴木 俊幸さん
お目度当う御座居ます。



編集後記

ミニバザーも無事に終わりました。
皆様のご協力に感謝致します。何時もながら婦人会のパワーに圧倒されますが、今回は中高校生会の皆さんも頑張ってくれました。

準備の時、各々が実に賑やかで（時には、少々騒がしいくらい）和気合意いに個々の分担をこなしていました。

この時感じた事は、皆それぞれ、大切な時間を裂いて、自分が出来る範囲で協力していると言う事実でした。

人間一人の力など知っていますが、個々のそれが寄集まった時、初めて大きな力となります。

慈善行為や奉仕活動など、遂行する場合、何等かの犠牲は必要ですし、また、それが無ければ決して達成出来る筈はありません。

今回のミニバザーで婦人会、中高校生会の準備風景を見ていて反省した次第です。

又、同時に共同体の一員として、自分の日常生活に於ける可能な時間（犠牲）を提供するという行為は、明確な“証”の表明ではないかと強く感じた次第です。
M・I.



12月の行事

6日 委員会 ミサ後
20日 婦人会 "
11日 レジオ 10:00
18日

その他の行事はお知らせ
の欄参照

第121回

カトリック中和田教会
広報委員会発行
泉区 中田町 2701
TEL 045-803-6141
1987年12月6日

委員会だより

11月1日集会室にて開催

1. クリスマス行事の件
・共同告解 12月13日(日)ウルフ神父様
・年末大掃除 12月20日(日)9時のミサ後、
ガラス拭き、建屋周辺の清掃
クリスマス当日の予定については12月の委員会において決定する予定。

2. バザーレポート

10月25日開催の親睦バザーに於ける会計報告は
以下の通り。

壮年会	- 6237円
婦人会	143832円
中高生会	- 228円
差引き	+ 137367円

3. 会計報告

10月次決算報告

詳細は会計又は広報委員の所に有ります。

4. 山崎神父様古稀に関する件

婦人会の提案に対する結論。

1. 12/11(金)の神父様の古稀のお祝いは、
神父様の固辞もあって、実施を見合わせる。

2. 敬老の精神からすると、特定の時のみでなく、常時、機会ある毎に呼掛けをすることが必要である。(バザー、クリスマス、御復活祭等の折、御招待する。)

3. 来年の新年会を壮年会、婦人会が合同で開催してその席に神父様をご招待しお祝いを併せ行う。同時に本年古稀をお迎えの方々もお呼びする。

4. 今後敬老の日の対応の仕方を従来の「お祝品送付」に代えて、婦人会より提案のあった神父様を中心に「会食懇談の催し」とすることを検討する。

10月の婦人会例会

10月25日のバザーは、みな様の御協力のお陰で、無事終る事が出来、有難うございました。

新品不用品、手作り品も全部売れ、古着の残りは男物を釜ヶ崎へ、婦人物は「かにた村」へと整理し、クリスマス前には発送の予定です。

バザー総売上金額は、245642円でその内命の電話一通一万円、フマニタスに一万円の寄附をし、一万円を11月の婦人会例会にて、バザーの反省会を兼ねた御苦労様会に使用させていただきました。

残りは金額委員会の方へお渡しました。

あとお茶が30ヶ位残っています。

緑茶600円、ほうじ茶400円、ウーロン茶450円、御希望の方は役員までお申出下さい。

1988年度の手帳とカレンダー(カルメル会と天使印刷の二種類)の申込み用紙が掲示してあります。ご希望の方は名前を記入して下さい。

壮年会だより

今月は休会で、特に有りません。



高校生会だより

今月はお休み致します。

遊行記

③

山崎正俊

明日に向かって



① 仏像たちは、金ピカに輝いていた。人々はその前に数本の長い線香をたばねて立てて、両手を合わせ深く頭をさげては、何事かを祈念しつづけてきた。香煙はゆらゆらとたちのぼり、天井にとどいている。カメラを構えてはみたものの、見おろしているそのままなざしが、いかにもいやしげで、シャッターを押す気は失せる。國宝とされている白玉の大きな仏像さえ、写すことは禁じられていたけれど、その伝わってくるはずの聖いものは、何も感じられなかった。私などは、けっきょく縁なき衆生なのだろうか。そう思ってなつぐすることにした。ソップ物語のキツネのみ。
② 始皇帝の墓は、大きな丘状をしていた。その頂に向ってバスの道からまっすぐに、物売りの小屋を両側に並べた参道をこえ、その先に、石段が立ち登っていた。それは何の見栄えもないたたずまいであった。そう説明されるから、そう信じただけ、通りがかりに、ちょっとバスをとめてみたということ。暑い陽射し、荒れはてた大地の乏しい風情の中に、活気があるのは、あかじみたぼろ着物の、何かの小さな木彫人形とかライターやとかを売りつけようとして、バスの窓ガラスをたたいて、しつこく呼びかける子供や女たち。さきほど、巨大な白いドームで囲まれた兵馬俑坑の博物館や皇妃たちの使った高価な馬車の展示を見てきたばかりなので、疲れていたせいだろうか、「肩すかしを食わされたようだった」と、墓陵にあがってきた人の言葉が、いまも忘れない。
③ 霧雨の中を、バスは北に向かって走り続けていた。早朝だったから、勤めに行く人たちが、自転車で来るのとゆきちがう。どの人も頭巾付きのビニールのマントで、前が長くてハンドルのうえにもかぶさっている。これが自家用の自動車だったら、身動きできない込み方だろう。——長城は八達嶺のを見物しただけ。しかし、このようなものを北の守りとして、何千キロにもわたって完成させた始皇帝の権力とは、どれほどのものであつたのか。どれだけの人がそのために、その願いに反して生きるようにさせられたか知れない。何故だろう。これほどの力を一人の男に持たせることがあるのは、歴史の榮華とは、悲劇の上に乗つてでなければ、つづられないものなのか。

レジオ アロクティオより

お知らせ

お悔み

マリア 木村 スエ様
戸塚教会の木村神父様の御母堂(94才)
11月9日ご逝去、追悼ミサ 11月15日15:00

洗礼

11月10日 山口 裕貴(ゆうき)ちゃん5ヶ月

転入

マリア 山口 ひとみ 桂様
ペトロ 智史(さとし)君(3才)
神奈川区三ツ沢東町1-11
郵政宿舎 109

12月の行事

- 13日(日)待降節の黙想会 指導 ウルフ神父様(栄光学園)
- 20日(日)大掃除 (9時のミサ後)
- 24日(木)クリスマスのミサ 20:00 ミサの後 小パーティー
- 25日(金)ミサ 10:00 新年のミサ 1月1日 10:00(年賀祝杯)
(土曜、日曜のミサは平常通り。)

編集後記

早いものでもう待降節の季節となり、今年も余す所あと僅か、また、忙しい毎日と成って来ました。

この「なかわだ会報」も今年の最終号となります。今年も、誤字、脱字が多く皆様には、ご不快な感を持たれて読まれた事と思います。

ここに陳謝いたします。と同時に、この会報の充実の為に皆様のご協力をお願いします。

では、この一年ご愛読して戴いた皆様、充実したクリスマスと、楽しい新年を迎える事をお祈り致します。

M・I